

川根本町商工会
経営発達支援計画（平成29年度）事業評価検討会 講評結果

実施日時 平成30年5月23日（水）
15:00～16:30
実施会場 川根本町商工会本所

【中小企業診断士 北川裕章 氏 講評】

本事業の他にも3つの補助事業を並行して進めており、膨大な業務量となる中で全般的に目標に近い実施結果だったことは大いに評価できる。今後、2人の経営指導員を中心とした効率的な事業遂行と、記帳指導員も含めた商工会全体での取り組みが必要である。

項目別にみると、地域の経済動向調査に関しては、景況アンケート件数が42件の目標に対して1件不足した。あと1件で目標を達成できたので、今後は途中経過の把握と追加実施等の対策を講じるべきである。経営状況の分析に関するところでは、巡回支援ツールを使用した訪問件数が達成率90%だったが、前年に対しては116件増加したことは評価できる。

事業計画策定支援に係る巡回訪問件数が目標の120件に対して39件と低位である。事業者が商工会に来会した際の窓口相談、支援件数も実績として評価すべきである。また、セミナー・説明会の開催や第二創業（経営革新）支援者数は、将来の地域経済の活性化にとって重要な取り組みであり、専門家派遣制度により外部専門家を積極的に活用すべきである。

新たな需要の開拓に寄与する事業や地域活性化事業についても概ね目標を上回っており、他の補助事業との相乗効果が出たものと推測される。今後も、全国展開支援事業等や山村活性化事業等との連携効果が期待できる。

【島田信用金庫川根支店長 小野田聰 氏 講評】

地域の経済動向調査に対するアンケート実施件数、経営支援ツール活用による経営分析等についてはほぼ計画通りの達成率であった。

また、地域の活性化に関してはイベント出展支援による販路開拓、かわねパスポートの作成による販売支援なども成果が出ており継続的な取組に期待したい。

事業計画策定支援に関する創業支援セミナー参加者による創業者は1先にとどまり、創業セミナー参加者全体数からみると若干少ないものとなった。

創業者は経理面をどうするか、利用出来る補助金はあるか、低利な融資は利用可能か、など様々な問題を抱えているので、創業セミナー参加者に対してはセミナーの開催だけで終わりとせず、セミナー開催後も定期的なモニタリングや補助金の申請支援・専門家派遣による販路拡大支援・有益な情報提供など積極的なフォローが必要であると感じた。

当金庫においても地域の活性化への積極的な推進は大きな課題であり、行政・商工会・金融機関が一体となり地域内の小規模事業者の収益力の向上、活性化に寄与出来ればと考えております。

【川根本町役場観光商工課 講評】

○経営発達支援事業の報告書には、主となる支援内容のみの記載であった。可能であれば、すべての支援内容の記載をお願いする。

○限られた職員数で経営発達支援事業、全国展開事業、伴走型支援事業など多くの事業を進めており、川根本町商工会の意欲を感じる。ただ、事業者との温度差もあるように思われる。Kawane passport など画期的な取り組みも、協力してくれる事業者があつて成功できるので、その温度差を埋めるように努力してほしい。
(もしかすると、事業者ごとの考え方を尊重する必要もあるかと思う。積極的に商売をしたい人や自分自身のできる範囲で商売したい人など様々な考え方がある。実際に商売するのは、事業者本人だから)

○Kawane passport について

- ・冊子の出来はすばらしく、SNS を活用した広報も、若者をターゲットとした取り組みとして優れている。
- ・ただ、SNS による広報は、意識的に情報収集をしている人 (=川根にもともと興味のある人) に対しての情報提供力に優れる一方で、そうでない人に対しての訴求力は比較的弱い。この解消のため、現在行っているハッシュタグ活用のほか、期間を絞って Web 広告を打つなど、新たな需要の掘り起こしも引き続き行っていただきたい。
- ・10 代をターゲットにする場合、youtuber による告知を行うことができれば、かなりの広告効果が期待できる。
- ・また、関連機関 (観光協会など) ともより連携して事業を進めてほしい。

○事業者の高齢化・後継者不足に伴う廃業が見受けられるようになった。事業者個人の考えもあるが、事業承継を専門家や町、金融機関と連携して進める必要がある。

○販路開拓事業に「南アルプスユネスコエコパーク」のロゴマークを利用していただき、推進を図っていただきたい。